



ウイルス (ういるす)



ウイルスとは、病原体の一種で細菌よりもずっと小さく、電子顕微鏡でないとみえない大きさのものです。

細菌は自分で増えることができますが、ウイルスはほかの生物の中で増えて、結果、その生物は病気を引き起こすようになります。細菌には抗生薬が効きますが、ウイルスには効果がありません。

がん治療中は抗がん薬の副作用などで白血球が減少すると、ウイルスなどの感染のリスクが高まります。通常のと看以上注意が必要です。

連絡先(医療機関名)